

2026年 2月 9日

各 位

理事(産学連携担当)、産学連携機構長

マテリアル・イノベーション・センターへの入居者の公募について

マテリアル・イノベーション・センターへの入居者について、下記により公募いたしますので入居をご希望の際は、別添の「マテリアル・イノベーション・センター使用申請書」に関係書類を添付のうえ、マテリアル・イノベーション・センター管理事務室(産学連携部産学連携課専門職員)宛にご提出くださいますようお願いいたします。

記

1. センターのコンセプト

本センターは、本学が世界的な強みを有する材料開発の中でも、特に産業化を前提とした産学官による連携体制を構築し展開することを目的とした研究棟です。

具体的には、1階から4階までの研究室・実験室において、学内外から公募により選定された研究プロジェクト等を実施するとともに、ラウンジ及び多目的ルームでの日常的な交流等を契機として、本学研究者、大学発ベンチャーを含む国内外の企業、研究機関等が結集した材料科学分野の国際オープンイノベーション拠点としての発展を目指します。

2. センター施設の概要

場 所:青葉山新キャンパス地区(環境科学研究科本館の東隣です。)

工 期:2020年7月末竣工

延床面積:2,747.25 m²

構 造:S造4階建

※建物の位置、面積等の詳細については、別紙 1「マテリアル・イノベーション・センター建築概要」参照。

3. 公募対象スペース

今回公募するスペースは、別紙2「マテリアル・イノベーション・センター実験室等公募箇所」及び別紙3「マテリアル・イノベーション・センター3階平面図」にてご確認願います。

なお、実験室等の使用に当たっては、別紙4「東北大学産学連携機構マテリアル・イノベーション・センター研究室等使用内規」及び今後制定予定の関連規則を遵守していただくことは基より、安全衛生に十分に配慮して使用いただくこととなります。

4. 審査

研究プロジェクトの決定については、「マテリアル・イノベーション・センター使用に係る審査方針について」に基づき、所定の委員会にて審査の上、決定します。

5. 供用開始時期

2026年5月以降

(7に記載の原状回復の有無により後ろにずれる場合があります)

6. 使用料金

実験室等の使用料金については、別紙4「東北大学産学連携機構マテリアル・イノベーション・センター研究室等使用内規」に定めるとおりご負担願います。

また、光熱水費等付帯料金は、別途実費負担となります。

7. その他

別添写真のとおり、前使用者が設置した水道設備及びコンセントを残した状態としています。不要な場合は、お申し出いただき、前使用者の負担により原状回復いたします。使用される場合は現状での貸し付けとなりますが、退去時に次の入居者において当該設備が不要な場合は、原状回復の費用をご負担いただく予定です。

【本件連絡先】

産学連携部産学連携課専門職員 佐竹
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-10
未来科学技術共同研究センター 2階
TEL:022-795-5236
E-mail:sangaku-sen@grp.tohoku.ac.jp